

---

# バカとテストと召喚獣～幼馴染はロリータです～

俊斗蛇駟

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バカとテストと召喚獣 幼馴染はロリータです

### 【Nコード】

N6547Y

### 【作者名】

唆斗蛇駆

### 【あらすじ】

中二の時に海外に行ってしまった吉井明久の幼馴染、佐藤悠美が文月学園Fクラスに転校してきた！バカな彼ら織り成すおバカラブコメディ！

## プロローグ

「え．．．転校？」

「．．．うん」

中学2年生の夏休みそれは突然訪れた。親同士が幼馴染みなのもあって小さい頃から兄弟のような存在だった悠美が突然転校することになった。

「何で急に転校することになったのさ?!」

「あのね、親の仕事の都合で．．．。私も一昨日言われたばっかで．．。」

「そんな．．．。」

「あつ、でも高校2年生くらいになったらまた戻ってくるから」

そんな．．．これから僕はどうやって宿題をやればいいんだ．．．一人でやったら一問もできないってのに

「ねえ、アキ兄。」

「な、なにさ!悠美」

「私がいなくなったら宿題出来ないとか考えてない？」

「うつつ!そ、それは．．．」

くそ!こんだけ付き合いが長いと表情だけで考えが読まれてしまう!

「それでね、イギリスに転校するんだけど．．．最後にお願いがあ  
るの」

「何でも言いなさい!僕が出来るだけのことはするよ!」

そういって僕は胸を張り自信満々に言った

「あ、あのね。その・・・アキ兄に・・・だ、抱いてほしいんだけど／＼」

「ええええええ！？い、いくら僕らが長い付き合いって言ってもさすがにそれは・・・僕らも年頃だし／＼」

「いや・・・なの？」

う、上目遣いだと！これは破壊力抜群だ！笑って見送ろうと思ったのにその前に僕の理性が崩壊してしまう・・・  
抱こうか抱くまいか迷っていたら・・・

「あ、もう時間だ！」

「え！？もう行くの」

「うん・・・じゃね、アキ兄」

このまま4年間も会えない幼馴染を見送っていいのか？  
・・・いや、駄目だ！  
悠美が部屋から出ていく前に・・・

「悠美！」

ガバッ

「え・・・」

僕は悠美を強く抱きしめた・・・

「いつてらっしやい、悠美」

「またね、アキ兄」

そして僕は悠美を放して玄関で見送った・・・

「アキ君、気を落とさずに」

「うん、大丈夫だよ。姉さん」

「そうですか。ではアキ君。さっき悠美さんを抱きしめたことについて言い訳はありますか？」

「えっ！いいや！あれは悠美がたのん・・・ぎゃああああああああああ！！！！」

こうして僕の幼馴染は転校していった・・・

## プロローグ（後書き）

はじめまして！初投稿です！  
つたない文章ではありますが良かったら今後とも読んでください！

## ヒロイン設定

名前 佐藤悠美 さとう ゆめ

身長 132?

体重 トップシーレット

性格 天然 ドジ ふんわりした感じ

趣味 お菓子を食えること 明久と一緒にいること

特技 料理 明久が考えていることなら表情だけでわかる

好きなもの 明久 甘いもの 友人

嫌いなもの 明久をいじめる人 辛いもの 苦いもの

外見 イン ツクスさんの的な感じ 原作9・5巻の美波的なツイン

テール しばってない時 は腰くらいまであって先の方が癖っ毛

運動は苦手で、体力はあまりない

召喚獣

服装 白のスクール水着にセーラー服の上だけ

武器 ステッキ

武器は通常時は鈍器として使用してるが、攻撃力はあまりない  
特殊能力はなぜか2つあります。

1つは、相手の動きを止める。このとき3秒に1点減点。発動する  
際に「ストップ!」と言う

2つめは、ステッキの先から光線を放つ。この際「ビーム!」と言  
う。点数の4分の1を消費する。

能力は2つ同時の発動も可能だが点数の4分の3消費してしまう。

## ヒロイン設定（後書き）

こんな感じで行きたいと思います。  
性格をうまく表現できないかもしれませんがその時はごめんな  
い。

果たして！私はこの話を最後まで書き終えることが出来るのか！！？  
以上、唆斗蛇駆でした！



## 第1話

文月学園の前にある車が1台止まった

「ちゃんとクラスで友達作るんだぞ」

「もおう。そんな子供じゃないよ！じゃあね」

そして車は去って行った……。

「ここが文月学園か……楽しみ？」

「おい明久。この前の島田と姫路とのデートどうだった？」

「ちよっ！雄二そんな大きな声で言ったら……」

『異端者には……・……制裁をおおおおおおおおおお  
！！！！！！』

「ぎゃあああああああああ！！！」

そんな叫び声をあげて僕はつかまってしまった！くそ！出遅れたか！

『男とは愛を捨て哀に生きるもの！吉井明久には……・死の制裁  
をおおおおおお！！！！』

くそ！万事休すか！？

「お前ら！！何をしとるか！！早く席に着け！！！」

そこに現れた僕の救世主は、肌が浅黒い、トライアスロンが趣味という筋骨隆々の生徒指導の教師西村宗一こと鉄人が勢いよく扉を開けた

「突然なんだが、転校生を紹介する」

『うおおおおおおお！』

『女子ですか！？』

『かわいかったら結婚してくれ！！』

誰だ！顔も見えてないのに結婚とか言ったやつは・・・！それにしても珍しいな・・・こんな時期に転校なんて

「入っていいぞ」

教室に入ってきたのは・・・小学生のような女の子だった・・・あれ？どっかで見たことあるような・・・

「え、えと・・・今日からこのクラスにお世話になります！さ、佐藤悠美です。よろしくです」

『付きあつて下さい！！！！』

『悠美ちゃーーーーーん！！！！』

『マイエンジェーーーーー！！！！ール！！！！！！！！！！』

くっ！！！！

この僕の理性が崩壊しそうになる殺人スマイルはどこか身に覚えが・・・

「あ。ちなみに将来の夢は・・・」

どうかで・・・

「吉井明久のお嫁さんになることですか？」

・・・やっと思いついた

『裏切り者には・・・死をおおおおおお！！！！！！』

くそ！逃げ切れるか！？僕が走りだそうとした瞬間・・・

「み、みなさん！アキ兄をいじめないでください！」

『YES！マイエンジェル！！！！』

良かった・・・悠美のおかげで助かった・・・

それにしてもとうとう悠美が帰ってきた・・・これから楽しく、いや・・・大変になりそうだ・・・

## 第1話（後書き）

どうも！唆斗蛇駆です！

いやホント！小説って難しいです……。でも頑張りたいと思います。気に入っていただけたら今後ともよろしく願います！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6547y/>

---

バカとテストと召喚獣～幼馴染はロリータです～

2011年11月20日11時33分発行